

ロシア特許庁 (Rospatent)、デジタル化・金融化・地域戦略を軸に知財制度改革を加速

2026年1月22日
JETRO テックセラルフ事務所

ロシア特許庁 (Rospatent) の長官ユーリ・ズボフ氏は、1月 20 日の全ロシア発明者・革新者協会 (ВОИР) の記者会見において、国内の発明活動支援策と知的財産制度の改善に関する方針を説明した。会見では、知的財産の役割と科学技術発展における重要性が議論された。発表の概要は以下の通り。

1. デジタルサービスの強化

- 発明、実用新案、商標の出願は「ロスパテントオンライン (Роспатент Онлайн)」および国家ポータル「ゴスウスルギ (Госуслуги)」を通じて、世界中から 24 時間可能となっている。
- 「ゴスウスルギ」に「 moi · интеллектуальные права、私の知財権 (Мои интеллектуальные права、私の知財権)」サービスを導入し、個人が自身の知的財産権を確認できるパーソナルキャビネット機能を提供している。

2. 審査期間の短縮

- 特許の実体審査期間は平均 4 か月に短縮されている。
- 小規模技術企業向けには 2 か月で対応する仕組みを導入済み。

3. 地域連携モデル

- 地方自治体・経済発展省・Rospatent の三者協定が 18 件稼働中。
- 地域プログラム向けに知財セクションの標準モデルを策定し、地域特性に応じたカスタマイズを可能にしている。

4. 知財金融の導入

- 知的財産権を担保とした融資制度の導入を進めている。
- 経済発展省・Rospatent・ロシア中央銀行がロードマップを策定し、地域展開を加速する方針を示している。

5. 政策背景

- 「科学技術リーダーシップ」を国家優先事項として設定済み。
- 議会、Rospatent、教育科学省が法制度整備を推進中。

Rospatent の実体審査期間平均 4 か月は、相当な迅速化を達成している。今後も、引き続き注視が必要である。

—Rospatent のプレスリリースは、以下参照 —

<https://rospatent.gov.ru/ru/news/20-01-2026-rospatent-rasskazal-ob-aktualnyh-merah-podderzhki->

[izobretatelstva-v-rossii](#)

<https://rospatent.gov.ru/ru/news/21-01-2026-cifrovye-servisy-rospatenta-adaptirovany-pod-zaprosy-biznesa-i-uchenyh-zubov>